

# 赤十字おおやま

NO. 25

Okayama Chapter



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 令和6年能登半島地震活動報告

### 日本赤十字社は 人々のいのちと健康を守ります

#### 職員派遣



救護班 (DMAT含む)  
延べ 343班



日赤災害医療  
コーディネートチーム  
延べ 119チーム



こころのケア班 (調整班除く)  
延べ 37班

#### ボランティアの活動



赤十字ボランティア  
延べ 1,688人が活動

#### 救援物資の配布



毛布  
16,005枚



安眠セット  
5,230セット



緊急セット  
2,224セット



その他  
携帯型簡易トイレ等  
3,400個

- 発生日時  
令和6年1月1日16時10分
- 最大震度  
震度7 (石川県志賀町、輪島市)
- マグニチュード  
7.6
- 震源地等  
石川県能登地方  
(輪島の東北東30km付近)  
深さ16km

日本赤十字社全体の活動  
(令和6年4月2日現在)

能登半島地震、岡山からの支援活動 (発災から3月末までの活動)

## 被災地へ希望を届ける



能登地方を襲った令和6年1月1日の地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。この災害により、多くの人々が日常を奪われ、避難生活を余儀なくされています。岡山県支部は、発災から情報収集を行い「救護班」、「日赤災害医療コーディネーターチーム」、「こころのケア班」、そして「こころのケア調整班」を被災地へ派遣しました。また、岡山県支部では義援金の受付を行い、多くの支援が寄せられています。被災地を支援するため、一丸となって活動したことをご報告いたします。



**救護班**  
 けがをした人の治療のほか、避難所を中心とした被災者の巡回診療などを行いました。

**日赤災害医療コーディネーターチーム**  
 被災地の医療ニーズを見極めながら、救護班の活動内容を検討するほか、行政や他機関との連携や調整等を行いました。

**こころのケア班**  
 被災者のほか、地元行政職員等の悩みをお聞きしたり、リラクゼーションを行ったりするなど、ストレスを和らげる活動を行いました。

**こころのケア調整班**  
 被災地におけるこころのケアのニーズを把握し、こころのケア班の活動方針を決定するほか、行政や他機関との連携や調整等を行いました。



### 避難所の被災者の声



#### 岡山赤十字病院救護班の診療を受けた63歳男性(輪島市)

「避難所では食生活も糖質ばかりで偏るし、ストレスもある。それでも赤十字の外科の先生に処置してもらえたのは幸運でありがたかった。輪島朝市の火災で自宅も何もかもなくして落ち込んでいたけれど、もう一度ゼロから頑張るしかない、頑張ってみようと思えそうです。」

**義援金** お預かりした義援金は全額を被災地に送金し、被災者に現金支給されます。



岡山県支部の義援金受付件数、受付金額(1/4~3/31受付分) **件数:1,447件 金額:473,790,885円**

## 5月は赤十字運動月間

5月8日は赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日。また5月1日は日本赤十字社の前身「博愛社」の創設日です。赤十字にとって非常に関わりの深い5月を「赤十字運動月間」として、活動に対するご理解とご支援を呼びかけるさまざまな啓発活動を行っています。

「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命を果たすため、私たちはこれからもさまざまな活動に取り組んでまいります。

### 赤十字運動月間特設Webサイト

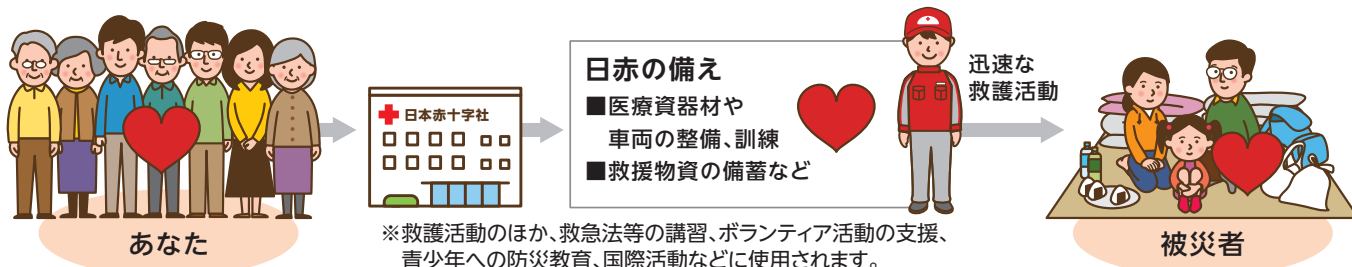
<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

### 活動資金

皆さまからの活動資金によって日本赤十字社の救護活動等\*が実施できます。



## 令和6年度 一般会計歳入歳出予算概算書

岡山県支部が行う事業について歳入歳出予算をまとめたものです。

